

○ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案 (. . 第 回総会 ; 市)		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ()	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	農政部
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	14 海外からのワイン用ブドウの導入と有望品種の選定について		
提案市	東御市		
提案要旨	<p>NAGANO WINEのブランド化を推進するため、信州の気候風土に適した品種を海外から積極的に導入し、地域の特性を活かしたワイン用ブドウの有望品種を選定することを要望する。</p>		
提案理由	<p>長野県では、信州ワインバレー構想に基づいて、既存の欧州系品種の栽培に関する試験研究を行っているが、有望品種の選定までには至っていない。</p> <p>今後、更にNAGANO WINEのブランド化を推進するためには、信州の気候風土に適した品種を海外から積極的に導入し試験研究を行い、有望品種を選定することが必要である。</p> <p>小規模ワイナリーの集積を促進するためには、有望品種により中山間地における栽培効率の改善を図りながら、一定の品質を保つことが重要であり、ワイン産業を成長産業として育成するために必要な事業である。</p>		
現況及び課題等	<p>世界に認められる高級ワインの原料は、欧州系品種である。</p> <p>また、有望な品種の中には、入手困難なものがあると聞いている。</p> <p>従って、有望品種の選定を図るには、ワイン用ブドウの試験研究を実施している県の専門機関で対応していただくことが望まれる。</p>		
法令関係	種苗法		